

# 同友しずおか 2019 11

VOL.492



私の逸品

エテルナ運送(株)

荷主の夢と一緒に目的地へ



静岡県中小企業家同友会



## 中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

### 同友会3つの目的

- 1 **よい会社をつくろう**  
同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。
- 2 **よい経営者になろう**  
同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
- 3 **よい経営環境をつくろう**  
同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の成功体験しか聞けない
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 指示待ち社員ばかり
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 将来の会社のビジョンができた
- 自発的な社員が増えた

その答え、**同友会にありました。**

**会 員 募 集 中**

経営者同士だからこそ話せる  
悩み、解決へのヒント、将来への展望。  
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130  
〒420-0057 静岡市東区御幸町1-6-6F FAX/054-253-7920 E-mail/doyu@shizuoka.jp

## 2019年度 活動方針

### ◆企業づくり

- I. 経営指針を成文化し、すべての人が生きる企業をつくろう
- II. 経営者と社員が共に育つ企業風土を確立し、時代の変化に対応できる強靱な企業になろう

### ◆地域づくり・経営環境づくり

- I. 中小企業振興基本条例の学びを深め、地域づくりの推進役となる
- II. 関係機関との連携を深め、経営者の声で経営環境を整えよう

### ◆同友会づくり

- I. 仲間づくりを推進し、1200名会勢を早期に実現しよう
- II. 真の経営課題に気づく学びあいにより、活力ある同友会をつくろう
- III. 同友会理念の学びを深め、実践で語れる会員を増やそう

## 新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1079 名

| 氏名                  | 社名・事業                    | 所属支部 | 紹介者   |
|---------------------|--------------------------|------|-------|
| つきみ さとなお や<br>月見里直哉 | 清水水道設備(株)<br>管工業 (水道工事業) | 静岡   | 青山 達弘 |
| すずき まさひと<br>鈴木 真仁   | (株)住まいと暮らし社<br>建築、不動産    | 浜松   | 江間 省豪 |

## 名義変更による新名義人 (敬称略)

| 氏名                | 社名・事業                                 | 所属支部 | 旧名義人  |
|-------------------|---------------------------------------|------|-------|
| うすい やすはる<br>白井 康晴 | 白幸産業(株)<br>建設業 (公共事業、土木一般、建築一般、舗装、住宅) | 御殿場  | 高杉 憲市 |

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



## 荷主の夢と一緒に目的地へ ～左右非対称のペイントが楽器 輸送のプロとしてのこだわり～

エテルナ運送(株) (浜松支部)

取締役 白井 喜久美氏



白井 喜久美氏

浜松市の自動車ディーラー街の近くにある浜松支部のエテルナ運送(株)を訪ねて、取締役の白井喜久美氏にお話を伺いました。

### 楽器輸送のプロとしてのプライド

最初に目についたのが、運送業の華であるトラックのボディにペイントされている楽団の絵。左右非対称になっている。楽器演奏している右手・左手を忠実に表しており、ここにエテルナ運送(株)の思いが込められています。

普段の運送業務とは別に、特別なお客様(荷主)として、吹奏楽の楽器を運ぶ仕事を請負っています。その請負数は、幼稚園から高校・社会人吹奏楽団まで、年間50団体を超えます。売

上に占める楽器輸送は10%近く。楽器輸送は手間とコストがかかり、他社の参入は難しいのが現状です。これまで培った豊富な経験と信頼が同社の強みとなっています。そして社員全員の、演奏家として日本一を目指している吹奏楽団員を応援したいという気持ち、運ぶ物を大切に早く届けるだけではなく、一緒に夢を運んでいくというプライドがそこにはありました。

### ブランドの確立までの歴史

同社はエテルナビアノという楽器メーカーの運送部門から出発。その後、天竜楽器を経て現在に至ります。楽器輸送もヤマハ吹奏楽団の専属から出発し、

楽器輸送のプロとしての評判から高校・社会人吹奏楽団の依頼を受けるようになった。信頼にこたえるべきプロ集団としての意識が社員一人一人に行き渡っており、その意識が楽器輸送ならエテルナ運送(株)という信頼のブランドの確立に繋がっています。常勤しているドライバーは8名、平日の業務とは別に、土日の楽器輸送に人員を割いています。忙しい時には、社長はもちろん、女性スタッフである白井氏



ヤマハ吹奏楽団2013.浜松まつりにて

喫緊の課題となっているのは人材確保です。課題解決の取り組みとして、社員皆が笑顔でいられる職場環境づくりに邁進しています。そのため社内の細かなところまでの気遣いと、何よりも自分自身のレベルアップに取り組んでいます。当日お話を伺った事務所には、ヤマハ野球部からプロになった選手のサイン色紙が飾られていました。野球部の道具輸送を

も自らハンドルを握ると言います。請負った仕事への責任を果たすというプロ意識に溢れていると感じました。同氏はもともと、別の会社からの転職組です。女子高校からソニー浜松を経て、今の会社に入社。「男性社会の運送業ですが、ためらいもなく、梱包業務から配車係・車両管理・管理事務からドライバー業務まで、様々な仕事を経験させてもらった。色々な仕事の機会に恵まれたことを、今の社長には感謝している」と、一人倍の負荷感と努力で、社長の右腕となっています。

### 今後の自分の役割として

請負う中で、社会人からプロになるまで選手の夢と一緒に応援してきた証として、プロの舞台で頑張っている選手のサイン色紙を飾っているとのことでした。エテルナ運送(株)は、社員全員が荷主の物と夢を届けることを目指している運送会社でした。

取材・伊藤 正浩氏

(南浜松ロード・マインドオフィス・浜松支部)

### エテルナ運送(株)

〒435-0016 浜松市東区和田町226-4  
TEL : 053-463-1367  
URL : <http://www.eterna-t.co.jp/>

創業 1968年  
社員数 正規8名 パート2名  
入会年月 2019年4月  
事業内容 トラックを使っての貨物運送  
(工場工業系・一般貨物運送、  
学校部活動・楽団の楽器運送)



トラック整備中の社員

自社考案のアイデア商品で勝負する。

(株)肉のすずき  
取締役 鈴木進太郎氏 (富士宮支部)



鈴木 進太郎氏

肉のすずきは、現在社長である父が、静岡市の精肉店での2年間の修業を経て、1967年に富士宮市西町で創業しました。「これからは養豚ではなく、肉屋をやれ」という、以前より養豚を生業としていた祖父からの言葉がきっかけでした。自動車で買い物をする時代になり、駐車場確保が困難という理由で1999年に養豚業をしていた実家の土地に店を新築

移転し、現在に至っています。

創業最大のピンチをチャンスに

2001年に富士宮・富士地区最大のショッピングセンターイオンモール富士宮(当時JASCO富士宮)が目の前に開業し、尚且つ、狂牛病問題や富山県で起きたO157によるユッケ食中毒死亡事故で、稼ぎ頭の牛肉や牛肉

のたたきが苦戦を強いられる状況になり経営難に陥ったと正直に話してくれました。「牛肉が売れないなら、他のものを考えよう」と他店との差別化として、加工総菜に注力することを決意。ラード+牛脂のミックス油で揚げた揚げ物(口コミ人気ナンバーワンはメンチカツ)や、とことんこだわった和風ローストビーフ、おふくろの味な手作りポテトサラダなど、今では数々の総菜が定番商品となり、安定的な販売数を確保しているそうです。また、「すずきのおいしい一週間」と題して、木曜日ならメンチカツとから揚げ、金曜日はトンカツといった風にメリハリのある日替わり特売を行っており、曜日によって違うファンがついているそうです。

家庭の食から地域の活力アップに貢献したい

入会当初は「他の経営者さんからの刺激やご指導を得て、少しでも良い会社になりたい」と漠然とした目的でした。しかし現在は、「安全高品質な食品を適正な価格で提供し、各家庭での食卓の時間が少しでも楽しくおいしい時間になることに尽力していきたい」という明確な思いがあります。家庭の食から地域の活力アップに貢献し、お客様からの支持を得ることで売上を確保する、そして地域の



肉のすずき店舗外観

雇用にも協力できたら、という風に考え方が変わってきたそうです。

10年後のために今を考える

また最近の同友会内での学びとして、支部内の勉強会である流通・小売部会の先輩方より、「会社はすぐには変わることはできないから10年後を今考える必要がある。将来の一步へのヒントは、まず足元の現実の中にある」と教えていただきました。人口は今後さらに減ってゆき、お客様の年齢層も変わってゆきます。「常に危機感を持ち、これまでの日々のルーティンから少しずつ変わることで、将来もお客様のおいしい食の時間によりそう会社でありたい」と笑顔で話してくれました。その姿から同友会で学ぶことでこれからは変わっていくのではないかと感



店舗に並ぶお肉やお総菜

じました。

各部門の世代交代、事業承継と課題も多いそうですが、前向きな鈴木氏の話を聞いて、今後の成長が楽しみに感じました。

取材・撮影：望月知洋氏

(エムスタイル・富士宮支部)

(株)肉のすずき

〒418-0032 富士宮市浅間町4-4  
TEL：0544-27-0461

創立 1967年2月  
社員数 20名 (パート含む)  
入会年月 2015年4月  
事業内容 精肉、総菜の販売

会員訪問記

多様な働き方で弁護士事務所の可能性を拡げる！

伊東ゆうなぎ法律事務所  
代表 杉山 伸也氏（伊東支部）



杉山伸也氏（右）と社労士資格をもつ女性社員

熱海に並ぶ温泉地として、関東を中心に全国から多くの観光客が訪れる伊東市。その観光の拠点となる伊東駅の目の前に伊東ゆうなぎ法律事務所があります。代表の杉山伸也氏になぜ伊東で法律事務所を開業したのか。また、どのような法律事務所を目指しているのかを伺いました。

静岡から伊東への移転を決意

杉山氏は、伊東支部長の守谷匡司氏（㈱祇園）の紹介で同友会に入会しました。守谷氏とは様々な会合などで顔を合わせることも多く、8年前からの知り合いだったそうです。もともと静岡で開業し仕事をしていた杉山氏は、2017年1月に伊東へと事務所を移転したばかりだったこともあり入会を決めました。静岡から伊東に来た理由については、「実家の家業が伊東にあり、小さい時から縁があった伊東でいつか仕事ができればと思っていた。年齢的にもうひと頑張りできると思い伊東への移転を決意した」と話してくれました。

弁護士も働き方改革

仕事柄、時間も不規則でなかなか会に参加できないのが悩みの杉山氏ですが、弁護士の業界では疎

かにされがちなのワークライフバランスについても考えるようになり、自身は原則として官庁の休みに合わせるようにしていると話してくれました。当然、理想どおりにいかない時もありますが、どこかで線引きをしないとキリがないと思いつ休む時は休むことにしているとのこと。また、事務員のうち1名は社会保険労務士の資格を持ち、自身の社会保険労務士の仕事も兼業しているそうです。この兼業については、杉山氏も専門職同士の連携によるシナジー効果や、多様な働き方の見地から積極的に応援しているとのこと。

多種多様な顧客の相談に応えるために

杉山氏は、そういったスタッフの働き方が、事務所全体の働き方や自身の仕事の幅を広げるきっかけになったと話します。法律、会計、税務、労務など依頼者からの相談は多様であり、法律の専門家に過ぎない弁護士だけでは十分な対応ができないことも多くあります。それをそれぞれの専門職が協力しあえば依頼者のニーズにより



事務所入り口

**伊東ゆうなぎ法律事務所**  
〒414-0002 伊東市湯川1-8-5  
伊東駅前ビル 4F  
TEL：0557-38-3553

創業 2006年7月  
社員数 3名  
入会年月 2017年3月  
事業内容 弁護士

広く、より深く応えることができるところではないかと杉山氏。今後、今いる社労士の資格を持った事務員のように、自分とは別の専門知識を持った人たちとの関わりを大切にして仕事に活かしていきたいと話してくれました。

取材・撮影：鈴木将大氏  
(南東亜電気工業・伊東支部)

# 中小企業憲章・中小企業振興基本条例学習会

## 「地域づくりの鍵は同友会が握る」

### ～振興条例を武器に地域をプロデュース～

講師：時 忠之氏（株大幸企画・長崎同友会）  
宮田 正一氏（株ミヤタ・長崎同友会）

10月19日（土）  
プラサヴェルデ 参加 40名



グループ討論の様子



宮田 正一氏



時 忠之氏

10月19日（土）沼津市のプラサヴェルデにて、中小企業憲章・中小企業振興基本条例学習会が開催され、会員から33名、行政・関係機関から7名の計40名が参加しました。

「地域づくりの鍵は同友会が握る」をテーマに長崎同友会会員で大村市の中小企業振興基本条例（以下、条例）に中心的に関わっている時氏、宮田氏の2名による事例報告とグループ討論を行いました。最後に座長の齋藤頼副代表理事（株アサギリ・富士宮支部）より「今回の学びのポイント」は①距離感②連携③実践の3点。そして条例が形骸化しないために、振興会議を通した1年の成果を来年度に活かすこと、行政・企業家がお互いの声を聞き、双方の課題を抽出すること、考え方を共有することの3つが重要である。各自治体も企業家も同じ地域住民であり同じ地域を支えている。これらの学びを実践し、多くの人に伝えていくことで輝く地域づくりが実現するのではないかとこのまとめで締めくくりました。報告の内容も含めた感想を参加者2名より感想を頂いたので紹介します。

ご参加いただいた行政・関係機関

（50音順・敬称略）

#### 〈行政〉

- ・ 御前崎市商工観光課
- ・ 小山町商工観光課
- ・ 静岡市産業政策課
- ・ 沼津市商工振興課
- ・ 牧之原市商工企業課

#### 〈関係機関〉

- ・ 静岡大学

### 参加者感想

#### 地域づくりは同友会がリーダーシップを取る

大村市では同友会が主導して2013年に条例が制定され、振興会議が設置されました。しかし、その振興会議は実効的な会議とは言えず、危機感を持った時氏が、市長や行政担当者との議論を重ね、振興会議の傘下に部会を作り、その活動を活性化させました。

#### 活きた条例、活かす運営を目指して

今回の学習会に地元小山町の職員の方とともに参加させていただきました。大村市での条例制定までの詳しい時間の流れと大村支部の関わり方や取り組みについて、また条例制定後の振興会議がうまく機能していないことを受け、同友会が主導し振興会議を立て直した事例を紹介していただきました。特に振興会議を3部会に分け具体的な検討から市への提案をし、次年度には対策を打ち出すという運営がされていて、非常に効率的で条例が活かされていると感じました。当社が所在する小山町では、条例の策定に向けて準備が進んでいます。今回の学習会で学んだ行政と同友会の関わり方や取り組みを活かし、理念条例とせず、活きた条例を目指し小山町ならではの条例とその活用に取り組みたいと思います。

北田 記章氏

（株北田木材・御殿場支部）

その熱意があるからこそ大村市は様々な施策が実現出来ていると考えます。報告後のバズでも、行政や他団体と連携の重要性、地域のために各人がやるべきことなどについて話し合い、同友会3つの目的の一つである「良い経営環境を作ろう」という意識がより一層強まったと感じました。

遠藤 正人氏

（株富士トレーディング・富士支部）

# 障害者問題全国交流会in滋賀

10月17日(木)～18日(金)  
琵琶湖ホテル 参加 502名



全体会の様子

10月17日～18日、琵琶湖ホテルにて第20回障害者問題全国交流会(略称・障全交、中同協主催)が「人が輝くから企業が輝く、地域が輝く」をテーマに開催され、全国から502名が参加しました。

1日目の分科会では「同友会の一丁目一番地はここにある」と題し、磯村裕子氏(サン樹脂㈱・愛知同友会)をコーディネーターに、杉浦昭男氏(真和建装㈱・愛知同友会)と浅井順一氏(㈱浅井製作所・愛知同友会)の2名の実践報告を聞き、グループディスカッションでは「企業家として、障害者にどう向き合うのか」をテーマに話し合いました。障害者と関わるには、合理的配慮や障

害者の理解が必要であり、全社員で取り組み、情報を共有することも必要である。また「障害者の感性・感じ方は当たり前が当たり前前じゃない」という我々健常者が忘れていたものを改めて認識しました。障害者との関わりを増やし、自分が足りていない部分を分かり合うことで、人として磨かれ、成長していくと実感しました。愛知同友会の障害者自立応援委員会では「一社一人関わろう」というスローガンを掲げ、やはり

り第一歩は関わるのが大切だと学び、同友会としての関わり方の勉強にもなりました。



パネルディスカッションで報告する比嘉氏と永井氏

2日目は障害者福祉の父と呼ばれる故糸賀一雄氏が思想や足跡を遺した「この子らを世の光に」というNHKスペシャルのVTR鑑賞をし、その後に「真の共生社会の実現をめざして」と題し、ファッションデザイナーの高橋信二氏(社会福祉法人ひかりの福祉会・滋賀同友会)、パネリストの中同協障害者問題委員長の比嘉

なみ子氏(㈲やんぼるライフ・沖繩同友会)と永井茂一氏(㈱ピアライフ・滋賀同友会)によるパネルディスカッションが行われました。糸賀氏は誰もが埋もれることのない共生社会を目指し、日本障害者福祉の基礎づくりに多大な功績を残しました。糸賀氏の言葉には人間尊重の精神が込められています。共生社会とは、誰かにとってよい社会ではなく、全ての人にとってよい社会です。その実現のために、我々経営者は諸問題を捉え、状況を理解し、それらを解決する絶え間ない努力が必要です。そして誰もが幸せになるような共生社会への実現にチャレンジしていきましょうと学びを深めました。

塚本和成氏(㈲塚本商店・志太支部)

## 静岡大学連携講座

◆第2講 10月9日(水)

「自由と正義について―弁護士としての役割」

講師：長野 哲久氏 (弁護士法人 長野法律事務所・浜松支部)



長野 哲久氏

弁護士の役割について、そして社会における自由と正義について学生に問いかけながらの講義となりました。社会にでると様々な不正義にであう場面が多くなります。そんな時に「不正義に蓋をしてみても見ぬふり」をするのではなく、「ダメなことはダメ」と言える自分をつくって欲しいと伝えました。最後に「価値観が多様化すれば必ずぶつかります。その中で「住みやすい社会」にするにはお互いどうしていけばいいか、今後さらに考えていく必要があるでしょう。ぜひ、法律やその他の様々なことを勉強して、自身の価値基準を培っていただく。」とメッセージを送りました。

◆第4講 10月30日(水)

「世界は広い!!リアルをいっぱい体感しよう。」

講師：松下 恵美子氏 (三協紙業㈱・静岡支部)



松下 恵美子氏

幼いころから冒険好きだった松下氏。自分の目で見て考えることが好きで、憧れの海外旅行添乗員になります。一方で地元静岡や家族に対する愛情も強く、添乗員の経験を経て家業に入社。社長になり「紙の魅力を伝えたい」という想いから小売店舗を開きます。自身の経験を振り返り「世界は未知なものであふれている。色々なことに興味を持ち、リアルを体感することで視野を広げてほしい」と話す松下氏。活動に対して「できる」かどうかではなく「なぜ」やっているのかを主体的に考え、行動する大切さを学生に伝えました。



故 小野 清氏  
 (株)小野美術印刷  
 静岡支部  
 1936年1月10日生  
 (満84歳)  
 1974年入会

## 故 小野 清さんのご逝去を悼んで

静岡県中小企業家同友会設立以来、長年にわたり副代表理事などの役職を歴任された静岡支部の小野清さんが、去る10月17日に84年の生涯を閉じられました。

小野さんは、1974年に県同友会の設立メンバーとして同友会に参加されて以来、県同友会の歴史とともに歩んで来られました。私も入会してから同じ静岡支部として、また県の役員として小野さんと接する機会は多々ありましたが、常に温厚な態度で接していただき、何事にも真摯に取り組む姿勢を貫かれていた姿が印象に残っています。

しかし、真面目一方かと言えば、酒の席では楽しい話も交わしましたし、同友会運動においては、筋の通らない局面では絶対に譲らないという頑固な一面も見ることがあり、そこに秘めた情熱は仕事の面でも同様に貫いてこられたのだと拝察します。

また、後年総務財務委員長の代には、事務局員の福利厚生の上にご尽力いただき、それが基盤となって現在の優秀な事務局員の登用に繋がったものと思います。入会当初から同じ支部の仲間としていつも温かく接して頂いたことに感謝の念を込め、小野清さんのご冥福をお祈り致します。

桜井 俊秀氏 (株)富士フォーチュン・静岡支部)

# 11月・12月

## DOYU CALENDAR

11月16日(土)～12月15日(日)

|                   |   |
|-------------------|---|
| 11月<br>17日(日)     | 三島支部30周年記念BBQ<br>(12:00 Shizuoka BBQ TERRACE 三島広小路ウェアハウス)                   |
| 18日(月)            | 県組織増強委員会 (東部)<br>(19:00 プラサヴェルデ)<br>第16期経営指針を創る会⑩<br>(19:00 同友会事務局)         |
| 20日(水)            | 県政策委員会 (19:00 同友会事務局)<br>浜松例会 (19:00 クリエイト浜松21講座室)                          |
| 21日(木)            | 榛南例会 (19:00 牧之原市商工会)  |
| 22日(金)            | 会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私」(19:00 同友会事務局)                                      |
| 27日(水)            | 県理事会 (17:00 同友会事務局)<br>県障がい者問題委員会 (19:00 同友会事務局)<br>県例会企画委員会 (19:00 同友会事務局) |
| 28日(木)～<br>29日(金) | 中同協 社員教育活動全国研修・交流会in岡山<br>(13:00 ANAクラウンプラザホテル岡山)                           |

|                   |  |
|-------------------|--|
| 30日(土)            | 同友会大学 (14:00 同友会事務局)   |
| 12月<br>4日(水)      | 総務財務委員会 (16:00 同友会事務局)   |
| 10日(火)            | 静岡例会 (19:00 ペガサート)   |
| 11日(水)            | 正副代表理事会 (17:00 同友会事務局)<br>御殿場忘年会<br>(19:00 いきなりステーキ御殿場店)<br>志太忘年会<br>(18:30 ガンジス川) |
| 13日(金)            | 富士宮忘年会<br>(19:00 クリスタルホール<br>パテオン)   |
| 14日(土)～<br>15日(日) | 第16期経営指針を創る会⑫<br>(9:00 静岡ホテル時之栖)   |
| 14日(土)            | 同友会大学<br>(14:00 同友会事務局)  |



《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》

## e-doyuの「書庫」機能のご紹介

e-doyuの機能の一つである「書庫」についてご紹介します。

様々な資料を閲覧・登録できる便利な機能ですので、ぜひご活用ください！

### 例えば、こんな活用方法があります

- ・各支部・委員会で活用している資料の登録・閲覧
- ・同友しずおかのバックナンバー閲覧
- ・「セミナー関係」のフォルダより、会員・行政・他団体・関係機関からの案内の閲覧
- ★役立つ情報を見逃さないためにも、定期的にチェックすることをおすすめします！

### 書庫の見方

- ①e-doyuにログイン※モバイル版には書庫機能がありませんのでご注意ください
- ②サイドメニューの中の「書庫」をクリック
- ③各フォルダごとに分かれているので興味のある項目をクリック！



静岡同友会  
Facebookページ



静岡同友会Facebookページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください！